

精度管理調査に関するアンケート

精度管理事業部事務局員：大島 康裕（J A愛知厚生連 安城更生病院）

実務分担者：杉山 大輔（J A愛知厚生連 安城更生病院）

西谷由美子（総合大雄会病院）

齊藤 翠（藤田医科大学）

鈴木 敦夫（名古屋大学医学部附属病院）

森部 龍一（愛知医科大学メディカルクリニック）

菊地 良介（名古屋大学医学部附属病院）

I. はじめに

本年度の精度管理調査は、新型コロナウイルスの影響で一部項目を削減し、昨年度と同時期に実施した。

また、精度管理調査と同時にアンケート調査を実施し、参加施設から貴重なご意見を頂いた。次年度以降の精度管理事業展開へ反映させるべく、以下にその集計結果を示す。

なお、ご意見・ご要望等にて重複した内容については割愛させて頂いた。

II. 対象項目

JAMTQC内にてアンケート設問を設定し、回答を求めた。

【アンケート内容】

1. 技師長クラスの方

本精度管理調査の参加費の妥当性、日臨技精度保証施設認証制度の他に、サンプルサーベイの内容を変更した件や、サンプルサーベイのセット申し込みに対する意見・要望を調査した。

2. サンプルサーベイ部門

項目数、試料の量に関する調査を行った（2題）。

3. フォトサーベイ部門

設問量、難易度、設問内容に関する調査を行った（3題）。

4. 評価対象外設問を出題した部門

設問量、難易度、設問内容、評価対象外設問の必要性に関する調査を行った（4題）。

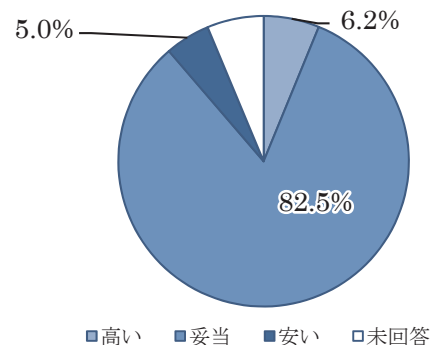
対象施設

アンケート調査は2020年度愛知県臨床検査精度管理調査に参加した142施設を対象とした。

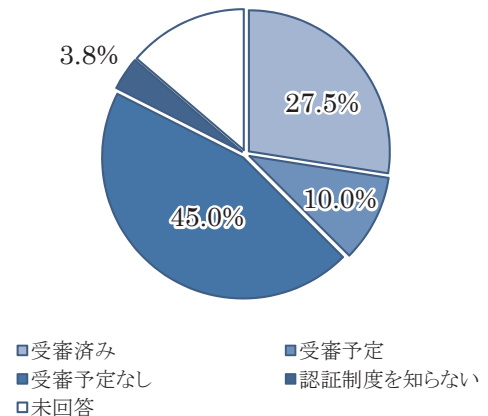
III. 調査結果

1. 愛知県臨床検査精度管理全般

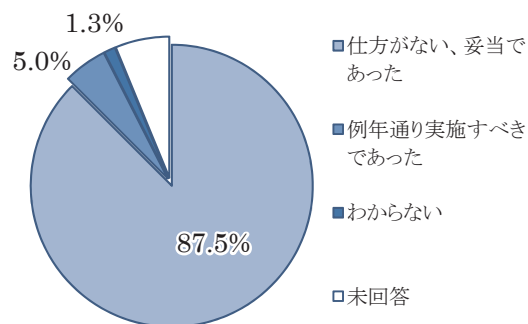
1) 他の外部精度管理調査との比較や調査内容を踏まえた本調査の参加費の妥当性について



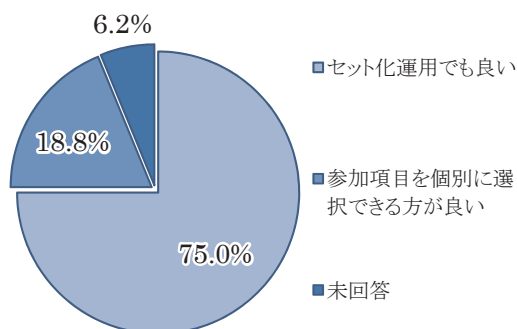
2) 日臨技精度保証施設認証制度について



3) サンプルサーベイの内容を変更（項目の削除、セット化運用）し実施したことについて



4) サンプルサーベイのセット申し込みについて

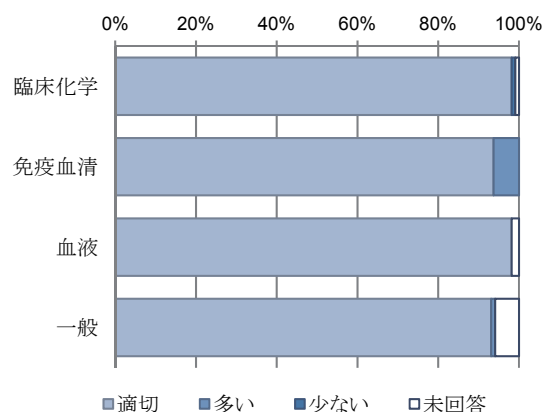


5) 精度管理事業全般に関する要望・意見について

- ・ 請求書は参加申し込み時に入力した参加費請求先に電子伝文か郵送してほしい。
- ・ 測定項目に、亜鉛、IL-2R、クロスミキシングを追加してほしい。
- ・ 測定項目数を削減するのであれば、その理由について、感染症拡大防止だけでなく、具体的に記してほしい。
- ・ コロナ禍の中、実施されたことは素晴らしいと思います。関係各位に感謝します。

2. サンプルサーベイ部門

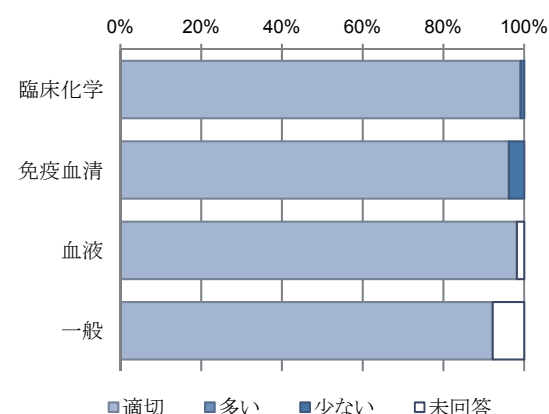
1) 測定項目数について



	適切	少ない	多い	未回答
臨床化学	98.2	0.0	0.9	0.9
免疫血清	93.7	6.3	0.0	0.0
血液	98.2	0.0	0.0	1.8
一般	93.1	1.0	0.0	5.9

内訳(%)

2) 試料の量について

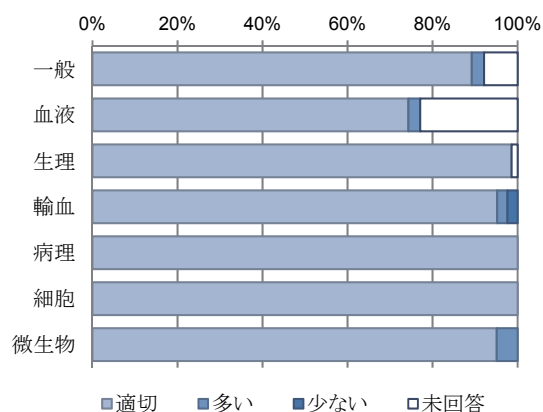


	適切	多い	少ない	未回答
臨床化学	99.1	0.0	0.9	0.0
免疫血清	96.2	0.0	3.8	0.0
血液	98.2	0.0	0.0	1.8
一般	92.2	0.0	0.0	7.8

内訳(%)

3. フォトサーベイ部門

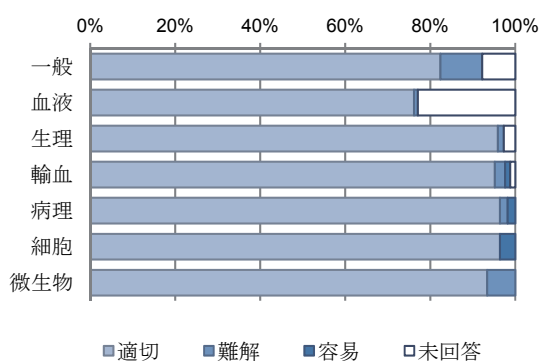
1) 設問の量について



	適切	多い	少ない	未回答
一般	89.2	2.9	0.0	7.9
血液	74.3	2.8	0.0	22.9
生理	98.6	0.0	0.0	1.4
輸血	95.2	2.4	2.4	0.0
病理	100	0.0	0.0	0.0
細胞	100	0.0	0.0	0.0
微生物	95.1	4.9	0.0	0.0

内訳(%)

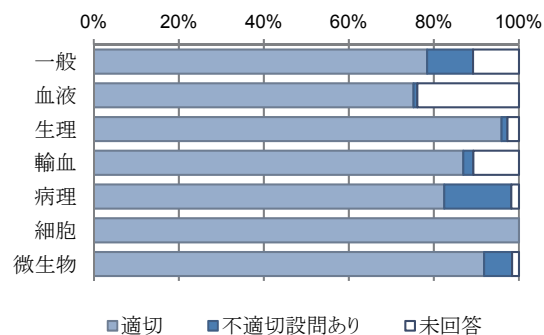
2) 設問の難易度について



	適切	難解	容易	未回答
一般	82.4	9.8	0.0	7.8
血液	76.1	0.9	0.0	22.9
生理	95.9	1.4	0.0	2.7
輸血	95.2	2.4	1.2	1.2
病理	96.5	1.8	1.8	0.0
細胞	96.4	0.0	3.6	0.0
微生物	93.4	6.6	0.0	0.0

内訳(%)

3) 設問の内容について

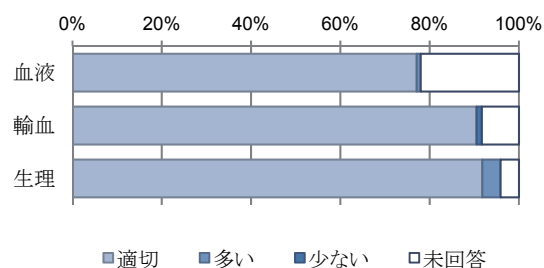


	適切	不適切設問あり	未回答
一般	78.4	10.8	10.8
血液	75.2	0.9	23.9
生理	95.9	1.4	2.7
輸血	86.9	2.4	10.7
病理	82.5	15.8	1.8
細胞	100	0	0
微生物	91.8	6.6	1.6

内訳(%)

4. 評価対象外設問

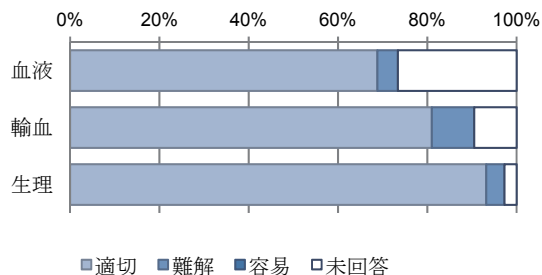
1) 設問の量について



	適切	多い	少ない	未回答
血液	77.1	0.9	0.0	22.0
輸血	90.5	0.0	1.2	8.3
生理	91.9	4.1	0.0	4.1

内訳(%)

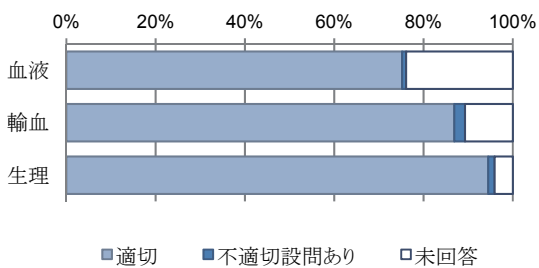
2) 設問の難易度について



	適切	難解	容易	未回答
血液	68.8	4.6	0.0	26.6
輸血	81.0	9.5	0.0	9.5
生理	93.2	4.1	0.0	2.7

内訳(%)

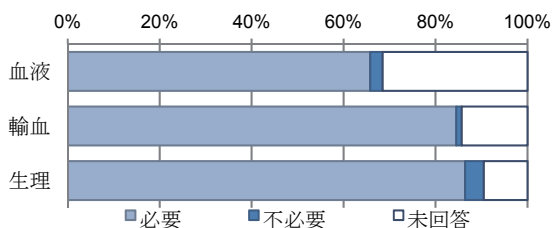
3) 設問の内容について



	適切	不適切設問あり	未回答
血液	75.2	0.9	23.9
輸血	86.9	2.4	10.7
生理	94.6	1.4	4.1

内訳(%)

4) 評価対象外設問の必要性について



	必要である	不必要である	未回答
血液	65.8	2.7	31.5
輸血	84.5	1.2	14.3
生理	86.5	4.1	9.5

内訳(%)

Ⅳ. 解説および考察

今年度も多くの参加施設に各種アンケートに協力して頂いた。今回実施したアンケートの集計結果から、以下の通り総括した。

1. 他の外部精度管理調査との比較や調査内容を踏まえた本調査の参加費の妥当性は、82.5%の施設が妥当、5.0%の施設が安いと回答した。高いとの回答は6.2%で昨年と同程度の割合であった。精度管理事業部としては、今後も参加費に見合う調査実施に努めていきたい。

2. 日臨技精度保証施設認証制度は、27.5%の施設が認証受審済み、10.0%の施設が受審予定、45.0%の施設が受審の予定はない、3.8%の施設が認証制度を知らないと回答があった。精度が十分保証されている施設を増やすため、受審施設の増加が次年度以降の課題であると考ええる。

3. サンプルサーベイの内容を変更し実施したことについては、87.5%の施設が、仕方がない、妥当であったと回答し、5%の施設が、例年通り実施すべきであったと回答していた。

4. サンプルサーベイのセット申し込みについては、75.0%の施設がセット化運用でも良いと回答しており、18.8%の施設が参加項目を個別に選択できる方がよいと回答していた。本アンケート結果を真摯に受け止め、次年度以降も感染症拡大防止に留意しつつ運用改善に努めていきたい。

5. サンプルサーベイ部門では、測定項目数、試料の量についてアンケートを実施した。

1) 測定項目数について

各部門90%以上の施設が適切と回答していた。臨床化学検査部門の0.9%の施設から多いと回答があり、免疫血清検査部門の6.3%、一般検査部門の1.0%の施設から少ないと回答があった。

2) 試料の量について

各部門90%以上の施設から適切と回答があった。臨床化学検査部門の0.9%、免疫血清検査部門の3.8%の施設から少ないと回答があり、多いとの回答した施設はなかった。

6. フォトサーベイ部門では、設問の量、設問の難易度、設問の内容についてアンケートを実施した

1) 設問の量について

一般検査部門の2.9%、血液検査部門の2.8%、輸血検査部門の2.4%、微生物検査部門の4.9%の施設から多いと回答があった。また、輸血検査部門の2.4%の施設から少ないと回答があった。

2) 設問の難易度について

各部門、概ね適切と回答していた。一般検査部門の9.8%、血液検査部門の0.9%、生理検査部門の1.4%、輸血検査部門の2.4%、病理検査部門の1.8%、微生物検査部門の6.6%の施設が難解と回答し、輸血検査部門の1.2%、病理検査部門の1.8%、細胞検査部門の3.6%の施設が容易と回答していた。

3) 設問の内容について

各部門、概ね適切と回答していた。一般検査部門の10.8%、血液検査部門の0.9%、生理検査部門の1.4%、病理検査部門の15.8%、微生物検査部門の6.6%の施設から不適切設問ありと回答があった。細胞検査部門では不適切設問ありと回答した施設はなかった。

7. 評価対象外設問では、設問の量、設問の難易度、設問の内容、評価対象外設問の必要性についてアンケートを実施した。

1) 設問の量について

各部門、概ね適切と回答していた。血液検査部門の0.9%、生理検査部門の4.1%の施設から多いと回答があり、輸血検査部門の1.2%の施設から少ないと回答があった。

2) 設問の難易度について

適切と回答した割合は各部門、昨年度と概ね同程度であったものの、輸血検査部門では、難解と回答した施設が昨年度0%に対し今年度9.5%と軽度の上昇が認められた。

3) 設問の内容について

適切と回答した割合は各部門、昨年度と概ね同程度であった。

4) 評価対象外設問の必要性について

必要であると回答した割合は各部門、昨年度と概ね同程度であった。

V. まとめ

今年度のアンケート調査では、例年同様の内容に加え、サンプルサーベイの内容を変更した件や、サンプルサーベイのセット申し込みに対する意見・要望を調査した。集計結果より、内容変更における妥当性については、多くの施設よりご理解いただけていることがわかり、全体を通して今年度における精度管理事業部の運営に大きな問題はないということが考えられた。しかしながら、例年通り実施すべきであったとのご意見や、セット申し込みに関するご要望があったのも事実であり、今回アンケート調査で頂いたご意見を真摯に受け止め、来年度の検討課題とし、より質の高い精度管理調査の実施に向けて取り組んでいきたいと考える。今後とも皆様のご支援、

ご協力をお願いしたい。

VI. 問い合わせ先

〒446-0026 愛知県安城市安城町28

JA愛知厚生連 安城更生病院 臨床検査技術科

大島 康裕

TEL：0566-75-2111

E-mail：yasuhiroshima0419@gmail.com